

令和7年度地域学校協働活動事業 目標と達成度

課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度にお ける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
①学校運営上の課題	01 教職員の時間外勤務の是正	学校行事の準備や雑務等に追われ、子どもに向き合う時間が十分に確保できない。	令和6年度に、全21小中学校に地域学校協働活動推進員の配置が完了した。先進校の取組を情報提供し、新設校の推進員が円滑に活動できるようにする。	学校のニーズに応じて、地域ボランティアを募り、実際に活動する。推進員は学校と地域の連絡調整等を担い、教員の業務負担軽減を測る。	免許を有する教員でなくてもできる作業等を地域ボランティアの方に行っていただくことにより、本来の業務に専念できるようにし、教員の業務負担感が軽減する。	アンケートにより、実際に負担感が減少したと回答する教職員の割合	90	%	95	95	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた。 家庭科ミシンや裁縫、図工の作業などの授業補助や校外学習引率補助や水泳の授業見守りなど安心安全面での見守りや、書初め作品の掲示などで多くの学校支援をしていたが、多くの教職員が負担軽減につながったことを実感している。
①学校運営上の課題	02 社会に開かれた教育課程への対応	地域の歴史的文化財や地域の特性を知らない児童生徒が多く、地域の一員としての自覚に乏しい。	各校の運営協議会において、地域を対象とした学習教材の発掘や講師の人材について検討する。	推進員が仲介役となり、戦争の語り部の会や地域の歴史研究グループ、地元商店街等との連絡調整等を担い、児童生徒の学びの場を提供する。	地域の文化的価値や特性を知ることにより、児童の地域の一員としての自覚が高まる。	地域教材の活用回数	12	事業	15	15	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた。 戦争の語り部活動や地域の歴史探訪、地域の特産品について学ぶなど、他校の好事例を情報共有することで、事業の幅が広がった。
②学校と地域の課題	02 青少年の健全育成	地域防災や地域公民館行事等に参加する中学生ボランティアは、学校が窓口として対応しており、地域との結びつきが弱い。また、対応する担当教員の時間外勤務の負担も大きい。	6中学すべてに地域住民を推進員として配置することで、地域ボランティアに参加する中学生の対応を行い、地域と中学生の結びつきを強める。	中学校に配置した推進員が学校と地域の窓口となることで、中学生ボランティアの募集や当日の対応などを地域住民によって行うようにする。	・中学生ボランティアの対応を地域住民が行うことで、生徒たちと地域の結びつきが強まると同時に、生徒の地域の一員としての自覚が高まる。 ・担当教員の時間外勤務の負担も軽減できる。	地域ボランティアに係る休日の時間外勤務の日数	60	日	30	30	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた。 地域ボランティアに参加する生徒の対応を推進員が行うことにより、参加する中学生が大幅に増え、中学生と地域との距離も縮まるとともに、教員の時間外勤務が減少した。